

(第1-1号様式)

産業廃棄物処理計画書

令和4年6月30日

奈良県知事 殿

提出者住所 奈良県橿原市雲梯町594番地

氏名 三和澱粉工業株式会社

代表取締役 伊藤 歩

電話番号 0744-22-5531

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条9項（奈良県産業廃棄物処理計画作成指導要綱第5）の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	三和澱粉工業株式会社
事業場の所在地	奈良県橿原市雲梯町594番地
計画期間	令和4年4月1日 ~ 令和5年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
1 事業の種類	食品製造業
2 事業の規模	製造品出荷額284億円
3 従業員数	271名

④産業廃棄物の一連の処理の工程	<p>(汚泥)</p> <p>再生処理業者に委託し、セメント原燃料として再資源化</p> <p>再生処理業者に委託し、堆肥として再資源化</p> <p>再生処理業者に委託し、路盤材として再資源化</p> <p>(廃プラスチック類)</p> <p>再生処理業者に委託し、RPFとして再資源化</p>
-----------------	---

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
<p>(管理体制図)</p> <p style="text-align: center;">EMS 運用事務局</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">工場次長 (環境管理責任者補佐)</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">工場長 (環境管理責任者)</p>			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
1 現状	【前年度 (令和3年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	1 汚泥	2 廃プラスチック類
	排出量	2,563 t	186 t
	産業廃棄物の種類	3 —	4 —
	排出量	— t	— t
<p>(これまでに実施した取組)</p> <p>有用物の回収、工程改善による廃棄物の削減</p>			
②計画	【目標】		

	産業廃棄物の種類	1	汚泥	2	廃プラスチック類
	排出量		2,700 t		200 t
	産業廃棄物の種類	3	—	4	—
	排出量		— t		— t
	(今後実施する予定の取組) <ul style="list-style-type: none"> ・ 前年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受けたため生産が停滞し廃棄物排出量が減少したが、今年度は幾分回復を見込む。 ・ 工程改善による産業廃棄物の削減を行う予定。 ・ 更なる分別の徹底を行なう予定。 				
産業廃棄物の分別に関する事項					
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 汚泥、廃プラスチック類はそれぞれに分別し、保管している。				
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特になし				
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項					
1 現状	【前年度（令和3年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	1	—	2	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量		— t		— t
	産業廃棄物の種類	3	—	4	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量		— t		— t
(これまでに実施した取組) 特に実施していない。					
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	1	—	2	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		— t		— t
	産業廃棄物の種類	3	—	4	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		— t		— t

	(今後実施する予定の取組) 実施する予定はない。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	1 — t	2 — t
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) 特に実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	1 — t	2 — t
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 実施する予定はない。		
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	1 — t	2 — t
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) 特に実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	1 — t	2 — t
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	— t	— t

		(今後実施する予定の取組) 実施する予定はない。	
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
1 現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	1 汚泥	2 廃プラスチック類
	全処理委託量	2, 563 t	186 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	1, 230 t	0 t
	再生利用者への 処理委託量	2, 563 t	186 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	— t	— t
	産業廃棄物の種類	3 —	4 —
	全処理委託量	— t	— t
	優良認定処理業者への処 理委託量	— t	— t
	再生利用者への 処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者への処 理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の熱 回収を行う業者への処 理委託量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) 産業廃棄物の最終処分量をゼロにした。		
	②計画	【目標】	
産業廃棄物の種類		1 汚泥	2 廃プラスチック類
全処理委託量		2, 700 t	200 t
優良認定処理業者への		1, 000 t	0 t

		処理委託量		
		再生利用者への の 処理委託量	2,700 t	200 t
		認定熱回収業者への 処理委託量	— t	— t
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	— t	— t
	産業廃棄物の種類	3 —	4 —	
	全処理委託量	— t	— t	
	優良認定処理業者への処 理委託量	— t	— t	
	再生利用者への 処理委託量	— t	— t	
	認定熱回収業者への処 理委託量	— t	— t	
	認定熱回収業者以外の熱 回収を行う業者への処 理委託量	— t	— t	
	(今後実施する予定の取組)			
	産業廃棄物の最終処分量ゼロを維持する。			